

高知県教育委員会 会議録

令和2年7月定例委員会

場所：教育委員室

(1) 開会及び閉会に関する事項

開会 令和2年7月22日(水) 13:30

閉会 令和2年7月22日(水) 15:25

(2) 教育委員会出席者及び欠席者の氏名

出席者	教育長	伊藤 博明
	教育委員	平田 健一
	教育委員	中橋 紅美
	教育委員	木村 祐二
	教育委員	永野 隆史
	教育委員	森下 安子

(3) 高知県教育委員会会議規則第8条、第9条の規定によって出席した者の氏名

高知県教育委員会事務局	教育次長(総括)	高橋 慎一(途中一時退室)
〃	教育次長	高岸 憲二
〃	教育次長	長岡 幹泰(途中入室)
〃	参事兼人権教育・児童生徒課長	黒瀬 渡
〃	教育政策課長	菅谷 匠
〃	教職員・福利課長	国則 勝英(付議第2号)
〃	高等学校課長	濱川 智明
〃	教育政策課課長補佐	泉 千恵
〃	教育政策課教育企画担当チーフ	三谷 玲子(会議録作成)
〃	教育政策課主任指導主事	小島 文晴(会議録作成)

(4) 議事の概要及び教育長等の報告の要旨

【冒頭】

教育長 7月定例委員会を開催する。

教育次長(総括) (提案説明)

教育長 付議第2号から第4号は、個人の情報を含む議案のため、付議第5号は、人事に関する議案のため、非公開の取り扱いとしたいが、賛成の委員は挙手をお願いします。

各委員 全員挙手

教育長 それでは、付議第2号から第5号を非公開の取扱いとする。

また、本日の議事進行については、順不同となるが、まず、公開議案の付議第1号をご審議いただく。次に、非公開議案の付議第5号、続いて、付議第2号から第4号までをご審議いただく進行とさせていただきます。

○高等学校課長 説明

○質疑

永野委員	事務局から企業等へ発出したアンケートだが、どのような趣旨、特色を持った内容だったか、またその結果について、以前説明があったか。
事務局	3月臨時教育委員会後の検討会で報告している。
永野委員	どのような特徴的な要望があったか。質問紙はこちらの意図どおりだとは思っているので、聞きたいことを聞いていると思うが、何か特筆すべき事はなかったか。再度お聞きしたい。
教育長	<p>一定、ICTやAIのことが出だろうと考えていたが、県内の主だった先端企業のみなさんからは、基礎学力をしっかりとやってもらいたいという結果が出た。そういったことについて、3月の検討会で報告させていただいた。</p> <p>基本的な学力はしっかりとおさえながら、産業教育に必要な部分に焦点を当てながら、今回は諮問するようにしている。</p>
永野委員	そうだった。もう少し、基礎的なことをしっかりと身に付けてくるようにということだった。
平田委員	<p>個人的に、今年の高校入試をみたら、トータルでは普通科志向の流れだと思った。産業系高校への志願志向は低いと感じた。どこかでこうやって諮問して、答申をいただいて、産業教育全体の魅力化を図る必要があると思っていたので、今回諮問して、答申をいただくことは大変よい事だと思っている。</p> <p>また、高等学校再編振興計画後期実施計画で、高等学校については、学校と連携して今後の在り方も記している。それを如実にしていただきたいと思っている。</p> <p>それと、これはお願いだが、検討の4つの観点だが、この観点には抽象的な表現ではなく、具体的な施策を入れていただきたい。このようにする、このようなことをやっていくという施策を入れていただきたいと思う。例えば、ただ施設設備を充実させるという表現ではなく、具体的にどのような形で設備を充実させ、社会の変化に対応した職業人を育成するのかが分かる内容にしていただければと思っている。ぜひ、そうそうたる産業教育審議会委員の皆様にご意見を聞いて、本県の産業教育の在り方をまとめてもらいたいと思っている。大きな期待をしているのでよろしく願いしたい。</p>

事務局	<p>委員の言われるように、今年の入試では、60%弱の生徒が普通科に入学している。10年前と比べてみると、10%近く普通科が増えているというデータもある。ぜひ、専門高校の魅力化に結びつけられるような諮問・答申にしていきたいと考えている。そのために、より具体的な内容について、全体会、そしてワーキンググループで協議していければと思っている。</p>
教育長	<p>現在の教育課程をそれぞれ棚卸しする中で、今後求められる部分で、何が足りないのか、人的なものであったり、設備的なものであったり、科目的な学習内容であったり、その辺りが出てくると先ほど委員が言われたように、具体的な施策となる。単に方向性を示すのではなく、現在の教育課程を個別に全部棚卸しをしていって、今後求められる姿に対して、何が必要なのかが見えてくる。それが具体的な施策につながっていくということを念頭に取組んでいきたいと考えている。</p>
中橋委員	<p>平成19年に答申をもらった時のタイトルも、今回と同じような「今後の産業教育の在り方」についてであり、今回も「これからの本県の産業教育の在り方」となっている。諮問と答申は、どうしてもこうした枠組みでやらざるを得ないのかとは思ふ。検討の観点を4つ挙げているが、19年のときも似たような観点だったのではないかと思う。優劣は付けにくいのかも知れないが、前回とは違う今回の特色としては、4点の中ではどの観点になるのか。それとも、19年から現在に至るまでの間に、新しい問題なのか、克服できていない問題があって、今回またこのテーマで答申をもらうということなのか。その辺りはどうか。</p>
事務局	<p>19年の諮問・答申の時には、生徒1人1人の自己実現を目指したキャリア教育を中心としたものだった。今回の諮問について、目玉というか、大きなものとしては、予測不能な Society5.0 と言われるような超スマート社会に向けて、子どもたちがどのように自己表現して、自分の持つ専門性を社会に還元していくか。そのような情報化社会のスピードの加速についていける人材を育成していきたいということが、一つの大きなテーマになると思う。4つの観点で言うと、1番とそれに追随する2番と考えている。そのためにも、教育課程を含め、より具体的な内容を今後協議していきたいと考えている。</p>
中橋委員	<p>サブタイトルとしては、情報化社会に伴う生徒の育成、教員の向上ということが主な軸足になるということか。</p>
事務局	<p>そうである。産業界についても、ICTやAIといった機器の進展がどんどん進んでいくと思うので、そういった社会に対応できるということで、サブタイトルはそういったものになるのではないだろうか。</p>

教育長	「高知県の」ということを意識してもらいたい。
事務局	分かった。
木村委員	先ほど教育長が言ったように、産業界の人は意外ときつい表現を時々される。要は、専門的なこと、その会社にとって必要なことは会社で教えるから、きちんと基礎学力を付けてきてもらいたいということが本音の部分でもある。けれども、専門的な大きな企業だけでなく、例えば、電気工事業者や水道業者は、いかに即戦力として、国家試験を通った子どもたちが入ってきてくれるかに重きを置いている。そのような業界もある。専門高校の生徒が社会に出てすぐに役立てるような資格といったものをどの程度しっかり高校の中で取得できているか、過去の推移は分からないので何とも言えないが、そうした資格を高校3年間でいかに取らせていくかという事柄が専門高校の魅力化にもつながると思うので、その辺りがどういった推移をしているのかの視点を持つことも大事ではないかという気がする。
事務局	学校ごとにはなるが、資格取得の実績をまとめていると思うので、確認していきたいと思う。
教育長 各委員 教育長	付議第1号の議決を求める。賛成する委員は挙手をお願いする。 全員挙手 付議第1号を原案のとおり議決する。

【付議第5号 教職員の人事議案

(高等学校課)】

○高等学校課長 説明

○質疑

【非公開】

	【非公開議案】
教育長 各委員 教育長	付議第5号の議決を求める。賛成する委員は挙手をお願いする。 全員挙手 付議第5号を原案のとおり議決する。

【付議第2号 令和3年春の叙勲候補者（教育功労）推薦議案

(教職員・福利課)】

○教職員・福利課長 説明

○質疑

【非公開】

教育長 各委員 教育長	【非公開議案】 付議第2号の議決を求める。賛成する委員は挙手をお願いする。 全員挙手 付議第2号を原案のとおり議決する。
-------------------	--

【付議第3号 高知県いじめ問題調査委員会委員の委嘱議案 (人権教育・児童生徒課)】

○参事兼人権教育・児童生徒課長 説明

○質疑

【非公開】

教育長 各委員 教育長	【非公開議案】 付議第3号の議決を求める。賛成する委員は挙手をお願いする。 全員挙手 付議第3号を原案のとおり議決する。
-------------------	--

※決定した委員は別紙のとおり

【付議第4号 地方自治法の規定に基づく補助執行の協議に関する議案 (高等学校課)】

○高等学校課長 説明

○質疑

【非公開】

教育長 各委員 教育長	【非公開議案】 付議第4号の議決を求める。賛成する委員は挙手をお願いする。 全員挙手 付議第4号を原案のとおり議決する。
-------------------	--

(5) 議決事項

付議第1号から第5号

原案どおり議決